

保守管理

輸送の安全確保のために日々行っている設備等の保守管理作業

定期的な確認・検査

法令等で定められた基準を基に作成した社内規程に従い、設備等の保守管理を行っています。

● 線路の保守

レールの交換はミリ単位の高度な技術が求められる、精密で重要な作業です。日々多くの列車運行により、繰り返し荷重を受けるレールは、超音波探傷や巡視による目視確認等さまざまな検査を行っており、計画的に交換を実施し安全運行を確保しています。



分岐器レール交換作業の様子



レール切断作業の様子

● 車両の保守

長津田、元住吉、雪が谷大塚、上町にある検修施設で、車両の使用状況に応じて定期的に車両の検査を行っています。また、4年に一度、車両総合事務所で車両を分解して、検査・メンテナンスを行っています。各機器の異常の有無やブレーキの効き具合、台車・車軸・連結器の探傷試験、車輪の摩耗など、走行に関する全てを確認しています。



車両を制御する運転台の点検



台車の点検

● 電気設備の保守

電気設備は、列車や駅で使われる電力を送るための変電所や架線・高圧配電線、明るくきれいな照明や多機能な案内装置、お客さまと列車の安全を守る保安装置や列車無線、ホームドアなど多岐にわたり、使われている技術も多様なため、各設備を専門とする技術者により点検整備を行っています。



軌陸車を使用して架線設備を点検して



変電設備の補修作業の様子

● 構造物・建築物等の検査

高架橋・トンネル等の土木構造物、駅舎・屋根等の建築構造物について、目視や打音等により定期的に検査を行い、落下リスク等の低減に努めています。検査結果はデータベース化して、維持管理に役立てています。火災時にお客さまの安全を守るための消防設備・換気設備や、駅を快適にご利用いただくための空調設備・昇降機設備等についても定期的に検査を行い、安定した運用維持に努めています。



ホーム屋根の点検の様子



ホームスラブの点検の様子

安全MEMO

東急線の空間データ活用について

レーザースキャナを用いて線路内の空間データ（立体的な点群のデータ）を取得し、線路内や線路脇に設置されている構造物や機器類の離隔等を確認しています。今後、列車が安全に走行できる空間の確保や構造物の維持管理に役立てていきます。



レーザースキャナを搭載した計測車両を軌陸車に載せ、3次元点群データを取得しています



取得した3次元点群データの事例